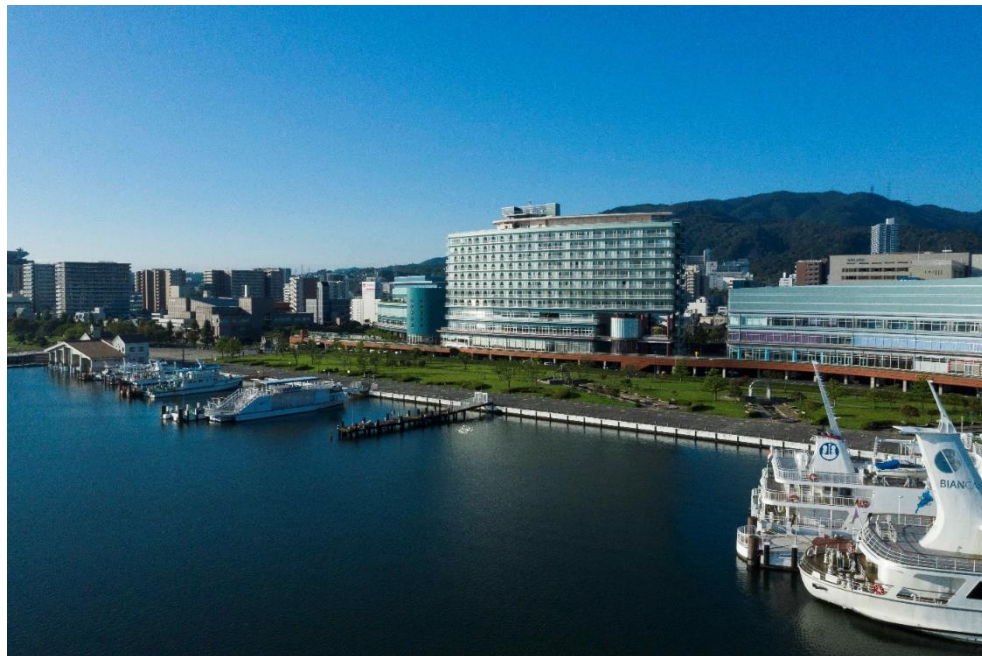


【琵琶湖ホテル】 サステナビリティ推進
SDGs の取り組みで持続可能な美しい琵琶湖へ
客室アメニティプラスチックフリーによる環境保全活動に参画

琵琶湖ホテル（所在地：滋賀県大津市浜町、総支配人：前田義和）は、持続可能な社会を築く目的で様々な SDGs の取り組みを実施しております。深刻化するプラスチックごみ問題を受け、2022 年 4 月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行が予定され、「脱プラスチック」はホテル・旅館事業者にとって取り組むべき大きな課題となっています。そこで当ホテルでは 2022 年 4 月 1 日（金）よりプラスチック廃棄物の抑制活動を行うため、全客室内の使い捨てプラスチック製アメニティを設置せず、普段から使い慣れたアメニティをお客様ご自身でご持参いただく「ライフスタイル型」の滞在を提案いたします。また、ご希望のお客様には環境に配慮した客室アメニティ（歯ブラシ&歯磨き粉セット、髭剃り、ブラシ）の販売、客室内にあるプラスチックアメニティ製品についても撤去および、環境に配慮した客室アメニティの差し替え・導入を進めてまいります。



当ホテルでは 2002 年に「里山の食彩プロジェクト」を始動し、棚田米や地酒をはじめとする滋賀県産食材をお客様に美味しく召し上がっていただくことで、里山環境を保全し、多様な生物の生態系を守る活動を 20 年間継続してまいりました。そして、2009 年にスタートした「山野草プロジェクト」では、年々減少する草原に生息する貴重な動植物を守るため、ホテル内ガーデンに「棚田のあぜ」を再現し約 100 種類の山野草を栽培するなど、里山の自然風景を未来に繋げたいとの想いで取り組んでおります。

私たちは日本が誇る美しい琵琶湖畔でホテル業を運営する企業として、お客様に滋賀県での滞在を心から

愉しんでいただくと同時に、琵琶湖の清らかな水を守り、そこに生息する多彩な生命体を守り続けることが使命であると考えています。当ホテルでは、これまで 20 年以上にわたり取り組んできた里山保全活動に加え、4 月 1 日からスタートするプラスチック製アメニティを使用しない脱プラスチック活動の両面から、琵琶湖とその周辺の自然環境保全に努め、「環境と観光の共生」を目指してまいります。

ご利用のお客様にはご不便をおかけすることがあるかと思いますが、当ホテルの取り組みにご理解とご協力をいただき、私たちと一緒に琵琶湖の環境保全活動にご参画いただけますと幸いです。

2022 年 4 月 1 日より客室に設置しないプラスチック製アメニティ
歯ブラシ & 歯磨き粉セット／髭剃り／ブラシ／コーム／シャワーキャップ／ボディタオル／ヘアゴム

■ 環境に配慮したアメニティの設置

バスアメニティ「NEMOHAMO」



客室内のバスアメニティは、同じ京阪グループである株式会社ビオスタイルの石油系成分無配合、ノンシリコン処方オーガニックコスメブランド「NEMOHAMO」を全客室に採用。容器は 90% 以上がサトウキビの廃液由来の素材でできているバイオマス PE を採用しています。本来捨てられていた原料を再利用できる上、バイオマス PE は通常の樹脂と比較して、製造・輸送・廃棄までの CO2 の排出量を約 7 割削減できます。

■ 環境に配慮したアメニティの販売（一例）

2022 年 4 月以降、ご希望のお客様へ販売いたします。（販売価格未定）



■ 竹製歯ブラシ & 歯磨き粉セット

持ち手が竹製の歯ブラシ。

■ 木製髭剃り

持ち手が木製の髭剃り。ゴミの削減にも考慮し 2 枚刃の髭剃りを採用。

■ 木製ブラシ

持ち手が木製のブラシ。

ご購入いただいたアメニティは使い捨てではなく、ご自宅へ持ち帰り何度もご利用いただけるよう、持ち帰り用の袋をご用意いたします。その他客室内にあるプラスチック製アメニティや備品についても撤去および、環境に配慮したものの差し替え・導入を進めます。

■ 琵琶湖ホテルにおける主な SDGs の取り組み

琵琶湖ホテルでは様々な SDGs の取り組みを実施しています



■ 里山の食彩プロジェクト



「食べることが守ること」を合言葉に、2002 年からお客様・地元の方々と共に取り組んでいるプロジェクト。約 20 年に渡り試行錯誤を重ねながら継続してきた取り組みは、棚田米（大津市仰木・高島市畑地区）や、バームクーヘン豚、近江黒鶏、ビワマスなど地元の食材をおいしく、たくさん召し上がっていただくことで、棚田の維持などの環境保全と地域経済の活性化を両立させる仕組みを構築しています。

■ 山野草プロジェクト



滋賀の原風景である棚田のあぜ。子どもの頃の記憶がふと甦る草や花々が、琵琶湖ホテルの「山野草ガーデン」でいきいきと育まれています。多様な生き物の宝庫である里山環境を再現しようと、在来種を中心に約 100 種類の山野草が植えられ、ゲストの目を楽しませています。

■ ウエルネスツーリズム&カルチャーツーリズム



ホテルスタッフが案内しながら京町通（旧東海道）や坂本エリア等ホテル周辺の古い町並みを巡る「街歩きツアー」等ホテル独自のアクティビティを開発。琵琶湖ホテルでの滞在を愉しむことで環境保全に寄与する仕組みや、近江の文化に触れることで伝統文化の保護に役立つといった「琵琶湖ホテル滞在 = SDGs への参画」の循環を創り出します。

SDGsを実現するライフスタイルを提案する 京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

なお、「里山の食彩プロジェクト」「山野草プロジェクト」および

「(株)ビオスタイルの『NEMOHAMO』」は BIOSTYLE PROJECT に認証されています。

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら

<https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>



新型コロナウイルス感染症に関する取り組み

詳しくは琵琶湖ホテルホームページをご確認ください。

詳細 URL : https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/biwakohotel/biwakohotel_safety_security_policy/

※リリースに掲載している写真はすべてイメージです。

<このリリースに関するお問合せ／ご掲載用お問合せ>

京阪ホテルズ&リゾート株式会社 琵琶湖ホテル 営業企画部マーケティング課／遠藤・福本

TEL : 077-524-0016 FAX : 077-524-8318

Email : bh_press@ml.keihanhotels-resorts.co.jp

HP : <https://www.keihanhotels-resorts.co.jp/biwakohotel/>

